

園芸市場情報

平成29年6月号

www.pref.chiba.lg.jp/ryuhan/engei/

発行：千葉県農林水産部流通販売課
首都圏マーケティングセンター
住所：〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1
大田市場事務棟4F
電話：03-5492-5416・5407
FAX：03-5492-5407

6月の相場見通しは？！

野菜類は、入荷量は前年並、相場は前年を下回るか！

果実類は、入荷量は前年を上回り、相場は前年を下回るか！

花きは、入荷量は前年を下回り、相場は前年を上回るか！

やっちゃん閑話 胃袋がやって来る P8

首都圏掲示板 P9

<今月の写真>

* 有利販売に向けた産地等の取組 *

5月は、本県産春・夏野菜・果実の出荷が本格化します。

大田市場内外で各産地による販売促進活動や品質検討会など、有利販売に向けた取組が行われています。このような地道な努力が産地の評価に繋がっていきます。



5月19日 「富里スイカ」場内販促



5月26日 「八街スイカ」場内販促



5月8日 「プレミアム初夏ネギ」場内販促



5月18日 「春トマト品質検討会」

CONTENTS (目次)

I 青果情報

- 01 5月（中旬まで）の経過
 02 東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格
 04 6月の見通し
 05 品目別生産出荷概況
 特集「大玉すいか」

II 花き（切花）情報

- 06 5月の経過（販売経過、品目別経過）
 6月の見通し（ヒマワリ、トルコギキョウ）
 入荷量と単価の経過 <確定値>

III 千葉県内市場における園芸品の市況概況

- 07 4月の青果物と花き

IV やっちゃんば閑話

- 08 胃袋がやってくる

V 首都圏掲示板

- 09 「母の日だけではなく、父の日も感謝を込めた花のプレゼントを」
 「千葉県産すいか、今年もはじまります！」

用語解説

園芸市場情報に使用する主な用語解説	急騰	：前日に比べ大幅に価格が上がる。（3割程度以上）	変動の幅を示す用語	平年並	：±2%以内
	強い	：前日に比べ10%程度以上価格が上がる。		やや	：±3～5%
	強保合	：前日に比べ5%程度以上価格が上がる。		かなり	：±6～15%
	保合	：前日とほとんど同じ価格。		大幅	：±16%以上
	弱保合	：前日に比べ5%程度以上価格が下がる。			
	弱い	：前日に比べ10%程度以上価格が下がる。			
	急落	：前日に比べ大幅に価格が下がる。（3割程度以上）			
	まちまち	：産地、品種により、価格の騰落が異なること。			

I 青果情報

1 4月下旬～5月中旬までの経過

気象 | 全国的に気温が高く、晴天の多い天候となった。
気温は、全国的に暖かい日が多く、平年より高かった。
降水量は、全国的に晴天が多く、平年より少なくなった。
日照時間は、全国的に平年より多くなった。

野菜類

入荷量 | 東京都中央卸売市場への入荷野菜は、関東産が中心となった。
4月中旬までの前進出荷の影響により、多くの品目で下旬は端境となったが、引き続き天候が安定し暖かかったことから5月は再び生育が前進した。入荷量は、「だいこん」「にんじん」「キャベツ類」等で前年を上回った一方で、「きゅうり」「トマト」等の果菜類は前年を下回った。
野菜全体では、4月下旬から5月中旬までの入荷量は138,260t（前年比102.3%）と前年並だった。

相場 | 端境はあるものの短く、生育前進での入荷増による充足感から、前月に引き続き安値基調となっている。前年が高かった「にんじん」「ねぎ」や、気温の上昇とともに短期間で出荷が集中した「トマト」を中心に多くの品目で安値となり、野菜全体では、4月下旬から5月中旬までの平均価格は241円/kg（前年比92.6%）と前年をかなり下回った。

果実類

入荷量 | 「かんきつ類」「りんご類」「すいか類」「いちご類」「メロン類」を中心に出回った。
入荷量は、前年が多かった「すいか類」「メロン類」は、3月の低温の影響により生育が遅れなどの影響から前年を下回った。前年が少なかった「かんきつ類」や、貯蔵量の多い「りんご類」は前年を上回った。
果実全体では4月下旬から5月中旬までの入荷量は27,330t（前年比105.2%）と前年をやや上回った。

相場 | 価格は、入荷量が少なかった「すいか類」は高かった前年並となった。前年が高かった「いちご類」や入荷が潤沢だった「りんご類」は、前年を下回った。
果実全体では4月下旬から5月中旬までの平均価格は426円/kg（前年比92.06%）と前年をかなり下回り、長く続いた高値基調が落ち着きつつある。

東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格

平成29年4月下旬～平成29年5月上旬

(単位:t、%、円/kg)

品目	産地	4月下旬				5月上旬				5月中旬				4月下旬～5月中旬合計			
		開市日数 本年7日・前年8日		開市日数 本年5日・前年5日		開市日数 本年9日・前年8日		開市日数 本年21日・前年21日									
		入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
野菜総量	市場計	42,174	84.2	245	92.8	45,220	109.4	245	94.2	50,866	116.2	234	91.5	138,260	102.3	241	92.6
だいこん	市場計	3,440	87.6	84	92.3	3,330	107.9	107	108.0	3,657	124.0	89	87.5	10,426	104.7	93	96.3
	千葉	2,755	90.0	85	90.8	2,610	107.3	109	108.4	2,970	124.8	88	87.4	8,335	105.8	94	95.6
にんじん	市場計	2,855	107.1	148	78.5	2,809	119.4	146	70.2	3,450	118.7	146	72.2	9,114	115.0	146	73.6
	千葉	61	176.3	127	111.4	74	84.4	145	71.2	673	113.0	157	72.8	807	112.6	154	73.4
はくさい	市場計	2,184	94.1	92	115.3	2,249	121.5	90	136.3	2,593	128.9	60	103.0	7,026	113.6	80	115.8
キャベツ類	市場計	6,312	98.5	103	81.8	6,468	112.7	97	95.9	6,643	125.4	87	87.1	19,422	111.4	95	86.9
	千葉	1,171	75.5	111	87.0	2,046	85.7	92	99.3	2,364	100.8	87	87.3	5,581	88.8	94	90.4
ほうれんそう	市場計	356	74.7	512	96.9	457	106.5	459	100.6	575	129.8	401	85.6	1,389	102.9	449	92.3
	千葉	25	105.0	436	102.1	21	151.8	414	98.8	14	103.4	395	90.5	61	117.3	419	98.0
ねぎ	市場計	1,070	82.1	320	73.2	1,101	110.6	383	63.8	1,367	111.8	388	81.8	3,538	100.5	366	73.8
	千葉	457	76.6	302	73.9	431	112.0	344	64.6	389	112.7	308	79.8	1,277	96.3	318	72.5
レタス類	市場計	2,277	76.1	174	96.8	2,506	91.3	182	103.7	2,904	107.0	131	87.8	7,687	91.0	160	95.1
	千葉	52	99.4	195	90.4	59	144.6	172	83.7	51	118.6	168	83.2	162	118.9	178	85.5
きゅうり	市場計	2,247	73.6	279	111.0	3,146	111.2	243	98.4	2,994	108.2	225	90.6	8,387	97.0	246	98.9
	千葉	255	69.0	261	108.3	399	113.4	224	96.5	313	109.5	207	88.7	968	96.0	229	96.8
なす	市場計	787	73.2	446	104.0	1,028	104.5	448	106.4	1,222	128.8	404	92.4	3,036	100.9	430	100.2
	千葉	18	44.9	456	118.2	33	83.6	444	119.0	34	71.1	389	105.3	85	66.8	425	113.0
トマト	市場計	2,858	84.2	295	81.1	3,124	102.1	278	87.3	3,556	99.3	282	101.2	9,538	95.0	285	89.0
	千葉	191	82.0	262	77.9	248	124.4	241	84.8	315	111.9	240	101.3	753	105.7	246	87.0
ピーマン	市場計	721	82.6	446	98.2	842	111.5	434	94.1	1,052	116.2	348	94.5	2,615	103.2	403	94.7
	千葉	1	70.2	553	102.6	2	79.6	503	107.4	5	119.8	425	118.8	8	95.9	466	107.7
さといも	市場計	115	100.1	238	77.6	97	112.2	253	75.7	96	111.0	294	82.2	308	107.0	260	78.8
	千葉	34	71.2	217	71.3	37	78.0	230	69.6	42	95.4	261	74.5	113	81.1	238	72.5
ばれいしょ類	市場計	2,755	89.4	209	92.2	3,158	109.3	182	90.9	3,821	139.8	160	78.4	9,734	111.8	181	85.8
たまねぎ	市場計	4,382	77.2	124	143.4	4,882	130.6	103	133.0	4,866	117.9	103	123.5	14,130	104.4	109	131.9
生しいたけ	市場計	169	84.4	937	96.3	191	121.6	940	92.8	197	115.5	926	98.8	557	105.5	934	96.0
かぼちゃ	市場計	774	66.1	198	147.2	688	86.9	196	125.8	961	113.2	184	99.1	2,422	86.2	192	123.0
さやえんどう	市場計	66	102.1	1,132	92.0	60	152.8	1,148	92.9	55	119.2	1,111	89.6	181	120.7	1,131	91.6
かんしょ	市場計	610	87.0	221	91.2	541	117.4	232	88.3	552	127.2	242	86.0	1,703	106.7	231	89.3
	千葉	316	81.0	215	89.4	315	108.4	229	88.7	328	114.3	240	84.8	958	99.1	228	88.3
かぶ	市場計	452	71.3	133	105.4	364	80.4	137	109.5	607	90.6	125	109.0	1,423	81.0	131	107.4
	千葉	373	71.7	136	106.3	308	80.5	139	109.6	479	88.8	123	112.0	1,160	80.4	131	108.7
ごぼう	市場計	203	96.8	405	96.4	195	105.7	417	108.7	224	112.7	396	102.8	621	104.9	405	102.1
こまつ菜	市場計	401	81.6	251	98.0	440	110.1	207	104.9	498	118.6	176	97.4	1,339	102.1	209	97.5
	千葉	17	67.4	257	97.0	21	117.6	225	92.3	18	107.3	209	97.3	55	93.6	230	93.8
こねぎ	市場計	137	79.1	640	85.8	133	104.4	725	86.1	188	114.4	777	87.7	457	98.5	721	87.7
わけぎ	市場計	5.9	70.6	678	102.4	5.7	96.8	765	91.7	8.2	128.2	610	77.0	19.8	95.9	674	89.8
糸みつば	市場計	51	88.4	337	97.0	43	101.4	366	100.2	61	118.9	318	93.8	155	102.4	338	96.6
しゅんぎく	市場計	38	95.3	611	91.0	36	118.9	697	96.5	34	115.0	551	96.2	108	108.3	621	94.4
	千葉	11	100.4	657	87.6	13	131.9	696	90.0	9	96.0	586	95.4	33	108.9	652	91.3
にら	市場計	282	76.4	465	108.6	281	106.5	431	111.8	354	111.5	365	105.0	917	96.5	416	106.8
セルリー	市場計	286	83.1	294	100.5	228	111.8	336	98.3	323	110.4	353	96.1	837	99.6	328	99.3

品目	産地	4月下旬				5月上旬				5月中旬				4月下旬～5月中旬合計			
		開市日数 本年7日・前年8日		開市日数 本年5日・前年5日		開市日数 本年9日・前年8日		開市日数 本年21日・前年21日									
		入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
カリフラワー	市場計	83	80.4	239	93.9	119	102.4	232	106.8	139	148.6	207	91.8	341	108.9	224	96.4
ブロッコリー	市場計	785	78.5	428	98.3	1,055	122.5	385	86.8	1,115	136.9	355	81.2	2,954	110.4	385	87.8
サラダ菜	市場計	36	83.4	313	89.9	36	105.8	314	90.7	51	128.3	253	84.0	123	105.0	289	87.0
	千葉	15	90.4	296	84.7	11	101.4	300	86.3	21	114.6	239	87.6	48	102.6	272	85.3
パセリ	市場計	22	71.7	726	109.0	24	89.3	762	101.7	27	106.8	755	99.9	74	88.0	748	104.0
	千葉	12	67.2	665	113.4	16	81.9	651	102.4	20	98.8	657	102.3	48	83.1	657	105.6
チンゲンサイ	市場計	143	84.6	269	107.6	142	105.2	250	106.6	185	126.2	204	90.5	470	104.3	238	100.2
エンダイブ	市場計	7	74.3	512	90.1	6	89.7	603	114.5	9	97.1	489	109.7	22	86.6	529	103.0
ミニトマト	市場計	738	77.9	511	83.6	791	108.7	447	86.0	770	96.5	502	102.5	2,299	92.9	486	89.1
	千葉	61	86.8	573	82.4	70	116.0	523	95.8	68	103.9	539	100.2	199	101.5	544	91.1
とうもろこし	市場計	25	80.8	504	95.5	45	93.7	572	104.1	168	86.2	480	110.3	237	86.9	500	107.3
いんげん	市場計	63	65.6	1,074	95.6	89	91.1	1,092	116.0	105	101.1	903	101.8	257	86.4	1,010	103.0
そらまめ	市場計	198	62.9	538	104.5	221	71.7	580	139.0	313	105.4	519	119.8	732	79.5	543	119.0
えだまめ	市場計	15	97.4	1,081	70.9	28	89.3	1,538	92.6	57	79.4	1,448	106.6	99	84.3	1,419	97.2
やまといも	市場計	37	67.8	692	91.9	41	104.0	706	93.5	52	108.1	718	96.4	129	91.5	707	94.1
	千葉	22	66.3	673	90.6	27	109.2	694	94.2	30	117.4	699	96.5	79	94.6	690	93.8
根しようが	市場計	118	73.1	719	101.5	134	103.8	703	98.6	173	96.4	755	106.2	426	90.4	729	102.5
マッシュルーム	市場計	41	87.0	843	99.4	43	110.1	840	99.7	51	128.6	854	100.7	135	107.3	846	100.0
外国産	市場計	1,414	79.7	251	114.6	1,286	101.7	255	107.8	1,633	123.0	217	89.5	4,333	99.2	239	103.5
果実総量	市場計	8,493	87.7	422	89.1	8,768	112.2	438	93.0	10,069	118.8	418	94.4	27,330	105.2	426	92.0
みかん類	市場計	11	73.0	1,528	94.3	17	76.6	1,706	86.6	38	65.1	1,803	109.4	66	69.1	1,731	100.7
かんきつ類	市場計	2,477	92.1	307	92.9	1,992	135.0	303	97.9	2,256	140.7	293	100.9	6,724	116.6	301	95.9
りんご類	市場計	1,865	97.3	257	70.5	1,686	134.5	263	67.5	1,787	136.1	277	67.7	5,338	119.1	266	69.0
(ふじ)	市場計	1,612	101.8	252	68.1	1,452	148.0	260	65.0	1,456	145.8	276	65.1	4,520	126.8	262	66.7
いちご類	市場計	1,225	84.8	962	98.3	1,300	146.6	892	92.1	1,019	127.7	791	94.6	3,545	113.2	887	94.4
(とちおとめ)	市場計	644	83.8	924	97.5	769	135.4	848	92.0	693	120.8	732	94.6	2,106	110.2	833	93.9
(あまおう)	市場計	218	92.4	990	103.5	163	208.8	910	95.8	33	164.5	852	96.9	414	124.0	948	99.7
メロン類	市場計	476	81.5	620	92.5	781	90.1	582	96.3	1,072	93.9	577	109.9	2,329	89.8	587	100.5
	千葉	6	123.7	782	73.4	6	103.3	720	77.2	10	81.9	645	118.8	22	95.4	700	94.4
(アールスメロン)	市場計	84	74.7	994	92.3	102	91.0	1,003	100.7	119	110.2	986	121.7	305	91.7	994	103.2
	千葉	5	118.2	801	74.2	4	93.5	811	78.1	5	100.7	847	121.7	14	104.0	820	88.4
すいか類	市場計	1,045	71.8	314	98.6	1,434	80.7	313	100.5	1,911	93.6	305	102.6	4,390	83.2	310	100.6
	千葉	12	135.7	420	88.5	47	103.3	375	92.8	177	93.3	334	106.3	235	124.1	334	106.3
(大玉すいか)	市場計	849	67.7	290	97.6	1,210	79.7	292	102.0	1,594	93.4	284	104.1	3,654	81.6	288	101.4
	千葉	1	189.0	381	156.2	16	179.8	310	109.6	121	88.1	303	108.9	138	94.2	305	109.4
(こだますいか)	市場計	196	97.3	415	92.9	223	86.7	426	92.9	317	94.6	412	97.1	736	92.7	417	94.5
	千葉	10	130.5	426	85.6	31	84.5	409	94.3	56	106.9	402	98.2	97	185.4	402	98.2
びわ	市場計	28	79.6	1,923	96.7	38	170.3	1,743	89.9	70	412.0	1,487	75.7	136	181.8	1,649	83.8
	千葉	1	15.8	3,393	133.0	2	28.9	3,002	132.7	4	55.2	2,816	125.0	7	48.8	2,875	127.3
ぶどう類	市場計	77	110.0	526	98.2	86	131.4	699	82.4	106	156.2	935	80.9	268	132.3	743	88.1
外国産	市場計	1,656	86.3	230	89.7	1,782	99.7	238	93.0	2,139	115.8	242	88.0	5,577	100.4	237	90.4

注) 斜体で表示した品目は、季節的に入れ替えをします。
0は単位に満たないもの。 -は数値の発表がないもの。

前年比10%以上
前年比10%以下

資料：東京青果物情報センター速報

2 6月の見通し

野菜

関東産に加え、長野県等の高冷地物、東北・北海道からの入荷が増加する。梅雨期のため日々の入荷の振れ幅はあるものの、大きな崩れはなく、入荷量は、「だいこん」「にんじん」「キャベツ類」「トマト」等多くの品目で前年並となり、野菜全体でも前年並となる見込み。

入荷の振れ幅はあるものの、総合的な安値基調で推移し、価格は「だいこん」「キャベツ類」「トマト」等多くの品目で前年を下回る。野菜全体でも前年を下回る見込み。

果実

「すいか類」「メロン類」を中心に、「りんご類」「ぶどう類」「びわ」「おうとう」「もも」など多くの品目が出回る。

中心となる「すいか類」「メロン類」は関東産が増加する。5月までは交配期の天候不順の影響があったが、6月上旬からは順調な入荷が見込まれる。前年が不作だった「びわ」は平年並の入荷が見込まれ、他品目も生育順調なことから、果実全体の入荷量は前年を上回る見込み。

「すいか類」など夏果実の入荷が順調な見込みから、果実全体では、入荷が不安定で価格が高くなった前年を下回る見込み。

品目	入荷量(t)		単価(円/kg)		備考 (県内産地の生育状況等)
	前年比	平年比	前年比	平年比	
だいこん	⇒	⇒	↘↘	⇒	主産地は青森・千葉・北海道。千葉県は順調。青森・北海道は若干の遅れあり。入荷量は前年及び平年並の見込み。
にんじん	⇒	↗↗	⇒	↘↘	主産地は千葉県。生育は順調で、入荷量は多かった前年並の見込み。
キャベツ類	⇒	⇒	↘↘	↗↗	主産地は千葉・茨城県。両産地とも生育は順調。入荷量は前年及び平年並の見込み。
トマト	⇒	⇒	↘↘	⇒	主産地は栃木・千葉県。両産地とも生育は良好。栃木は生育進み切り上がり早い予想。入荷量は前年及び平年並の見込み。
大玉すいか	↘	↗	⇒	⇒	主産地は千葉・熊本県。各産地、生育順調で、着果も良好。入荷量は多かった前年を下回るが平年を上回る見込み。
メロン類	⇒	⇒	⇒	↗↗	主産地は茨城・千葉県。交配期の低温の影響が上旬はやや残るが、その後は回復する見込み。入荷量は前年並の見込み。
びわ	↑↑	⇒	↘↘	↗↗	主産地は長崎・千葉県。長崎県は2年連続不作だったが本年は平年作。入荷量は少なかった前年を大幅に上回る見込み。
			増加	減少	

凡例			
⇒	平年並: ±2%	↗↗, ↘↘	かなり高, かなり低: ±6~15%
↗, ↘	やや高, やや低: ±3~5%	↑↑, ↓↓	大幅高, 大幅低: ±16%以上

3 今月の青果物

大玉すいか

主要産地の大玉すいかの入荷量(東京都中央卸売市場)

産地	28年6月入荷量	28年6月シェア率
千葉	4,026 t	51.0 %
熊本	1,675 t	21.2 %
鳥取	969 t	12.3 %
山形	0 t	0.0 %

今後の競合産地の動向は?

東京都中央卸売市場における大玉すいかは、主に4～9月に熊本県、千葉県、鳥取県、山形県から入荷します。大玉すいかの都中央への年間入荷量は、熊本県、山形県に次いで千葉県が3位となっています。

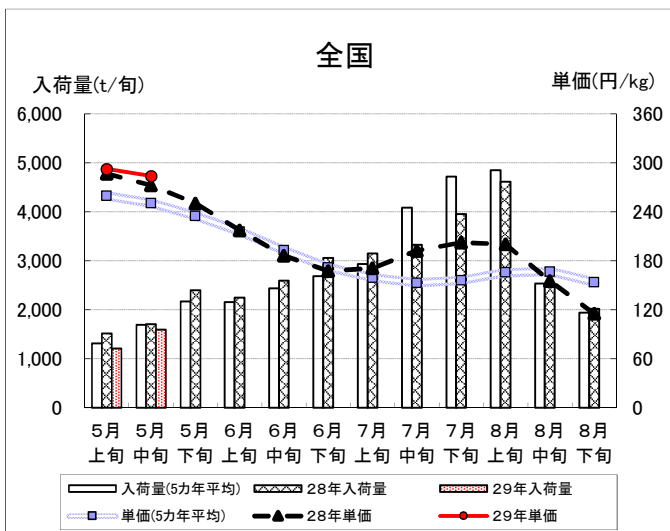
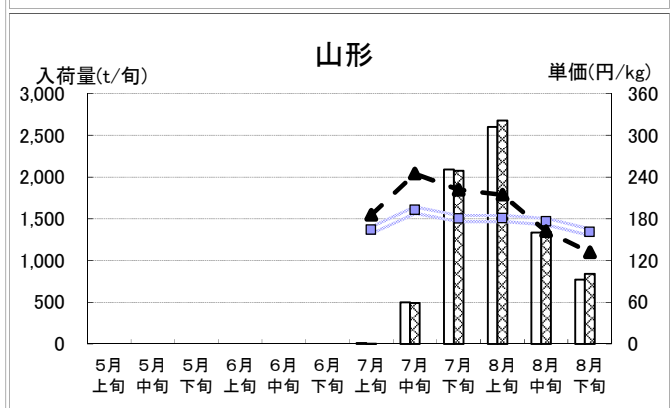
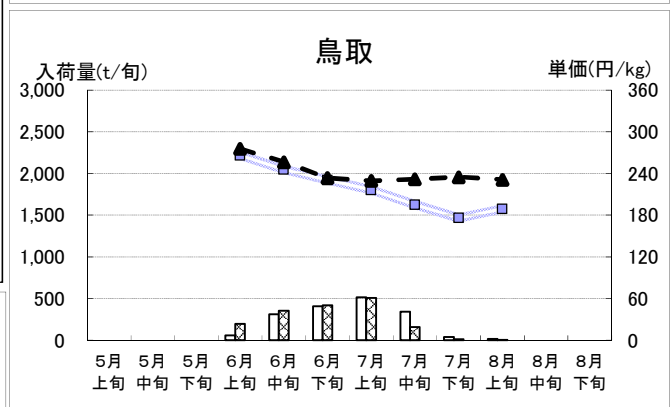
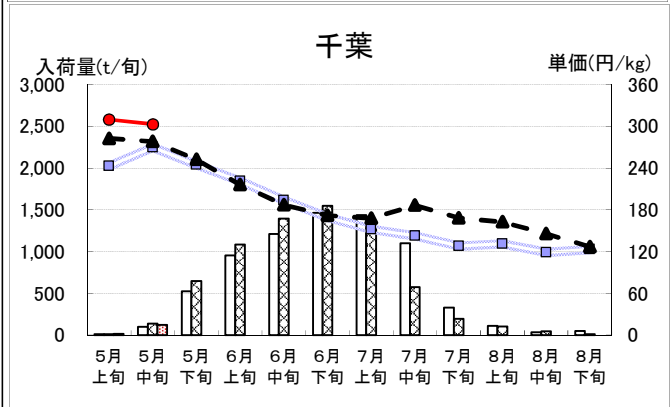
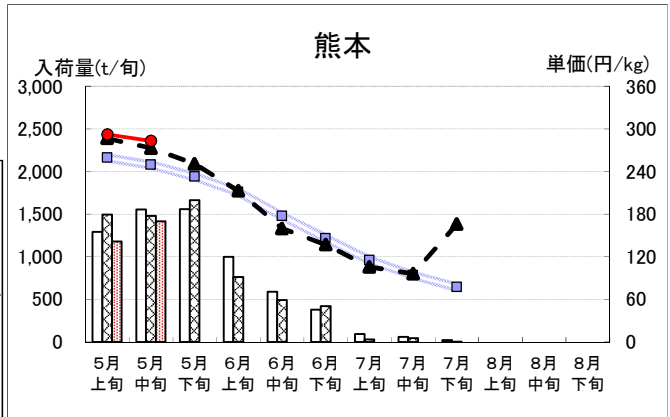
5月までは熊本県、6～7月は千葉県・鳥取県、7～8月は山形県など東北産地という順に産地がリレーされています。

千葉県産は、ハウス物が5月中旬から、露地物が6月上旬から出回り、6月中旬～7月上旬がピークになります。

前年は、各産地とも気温高の影響から生育が前進し、入荷量は6月までが多く、7月以降が少なくなりました。

本年は、3月下旬の天候不順による着果不良などの影響から遅れがみられ、5月中旬までは入荷が少なくなりました。しかし、各産地とも4月からの着果は良好で、生育も順調なことから、5月下旬以降の入荷量は増加してくる見込みです。全体では6月の入荷量は多かった前年をやや下回りますが、平年をやや上回る見込みです。

6月入荷予測	7,600t(前年比96.2%、平年比104.4%)		
6月価格予測	190円(前年比101.2%、平年比98.9%)		
6月市況予測	(上旬) 弱保合 ↘	(中旬) 弱保合 ↘	(下旬) 保合 ⇒



Ⅱ 花き(切花)情報

5月(中旬)までの経過

母の日需要の期間は入荷量が少なく、相場は平年をやや上回った。

販売経過 (東京都中央卸売市場大田市場)

項目	経過
入荷量	切り花全体では、上旬は平年をかなり上回り、中旬は平年をかなり下回った。母の日需要があるカーネーションでは、上旬は平年をやや上回った。
相場	切り花全体では、上旬は平年並、中旬は平年をかなり上回った。母の日需要があるカーネーションでは、上旬は平年並であった。
動向	本年の母の日は最も遅い5月14日でありゴールデンウィークと重ならず、母の日需要の商品は小売りを中心にしっかりと需要があった。

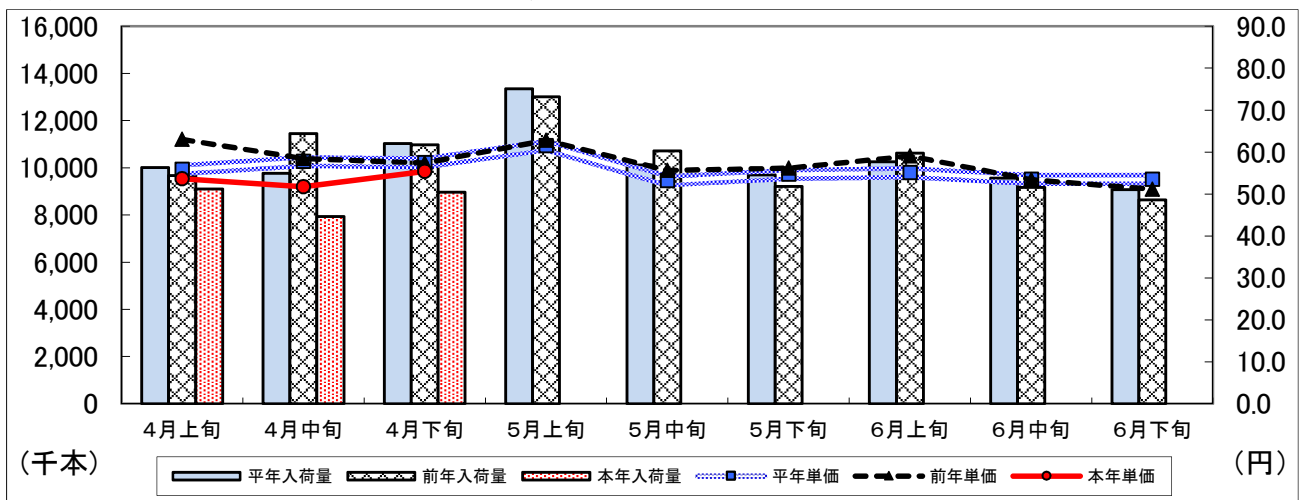
品目別経過

品目	経過
カーネーション	(株)大田花き 前半は母の日需要につき赤カーネ中心の販売、国産秀品が例年より少なかったが、単価の跳ねはなかった。また小売・専門店向けの複色系カーネも入荷少ない状況であった。
	F A J 母の日までは安定した相場。需要期以降は下落したが例年よりは底値相場高く比較的安定。

6月の見通し

品目	見通し
ヒマワリ	(株)大田花き 中旬の父の日に向け、各産地数量が増加してくる。販売面では中旬がピークとなるが、父の日以降も花持ちの面で安定した需要となる見通し。
トルコギキョウ	(株)東日本板橋花き 6月の下旬以降は暖地の2番花が終わり、高冷地が今年も7月からの出荷者が多い為、下旬は品薄傾向。
	東京フラワーポート(株) 例年より入荷は少なくなる見込み、福島、山形県産は増加。

4月の入荷量と単価の経過<<確定値>>〔株)大田花き〕



花き流通情報連絡協議会資料より作成
平年値は過去3カ年の平均

Ⅲ 千葉県内市場における園芸品の市況概況

青果物

単位：t、円/kg

品目	H29.4月				累計 (H29.1～H29.4月)			
	入荷量	前年比	単価	前年比	数量	前年比	単価	前年比
野菜	22,675	0.93	198	0.98	87,470	0.94	198	1.03
だいこん	3,226	1.01	85	0.87	11,285	0.97	86	1.03
にんじん	1,180	1.12	166	1.00	5,067	0.89	153	1.53
はくさい	1,372	1.15	137	1.41	6,879	1.05	108	1.51
キャベツ	4,404	0.92	107	1.05	16,367	0.89	107	1.40
ねぎ	921	0.93	269	0.84	3,872	0.87	280	1.09
トマト	1,123	1.01	316	0.78	3,178	1.04	381	0.77
きゅうり	820	0.78	271	1.06	3,051	0.93	297	0.86
ばれいしょ	1,535	0.90	214	0.94	5,414	0.91	219	1.16
たまねぎ	2,113	0.81	124	1.55	8,128	0.96	106	1.34
レタス	828	0.81	184	0.93	3,529	1.03	194	0.76
果実	3,846	1.00	386	0.91	18,964	1.04	379	0.93
みかん	119	1.44	288	0.89	4,354	1.25	249	0.85
かき類	0	0.00	0	0.00	149	2.52	285	0.67
グレープフルーツ	96	0.64	238	1.04	313	0.70	238	1.03
なし類	0	0.00	0	0.00	16	1.35	266	0.95
ぶどう類	76	0.84	361	0.98	154	0.97	357	0.88
いちご類	567	0.81	1,001	1.13	2,328	1.01	1,173	1.00
すいか類	235	1.15	326	0.96	269	1.13	336	0.96
メロン類	213	1.33	384	0.80	438	1.35	358	0.79
バナナ	499	1.05	155	0.83	1,755	1.01	155	0.86
りんご	615	1.07	247	0.71	2,735	0.90	265	0.89
その他	241	0.86	162	1.04	1,088	1.02	197	1.02
青果物合計	26,762	0.93	224	0.97	107,522	0.96	230	1.02

花き

単位：千本（千鉢）、円/本（鉢）

品目	H29.4月				累計 (H29.1～H29.4月)			
	入荷量	前年比	単価	前年比	数量	前年比	単価	前年比
切り花	3,407	1.32	47	0.78	15,692	1.40	58	0.93
きく	1,194	1.12	48	0.72	5,136	1.35	65	0.95
バラ	166	1.08	64	0.98	701	1.50	71	0.91
カーネーション	419	0.93	37	0.77	1,882	1.41	45	0.86
枝物	67	0.91	110	0.90	386	1.09	106	1.07
鉢物	151	0.89	130	1.06	418	1.12	139	0.99
その他	3	1.50	145	0.90	11	1.38	79	0.57
花き合計	3,628	1.28	52	0.80	16,507	1.38	61	0.93

※県内公設卸売市場実績。品目は主なもの。数値の「0」は入荷はあるが単位に満たないことを示す。

※「-」は、数値の発表がないことを示す。

IV やっらゃば閑話

胃袋がやって来る



私の手元に二つのバッジがある。

一つは、某不惑ラグビークラブ経由で配付された、**2019ラグビーワールドカップ(RWC)**のバッジ。今一つは、県セーリング連盟から配付された**2020オリンピック・パラリンピック**のバッジである。

立て続けに開催されるこの2つのスポーツビッグイベントは、国立競技場の建て替えを巡る対立や、オリンピックロゴマークの盗用問題など、大いに世間を騒がしているため、皆様もしっかりと記憶されていることと思う。

RWCは、2019年9月20日から11月2日にかけて、国内12競技場を舞台に世界の強豪20チームが総計48試合を戦い、カップを争奪するもので、日本政策投資銀行は、トータル来場者数200万人。うち海外からの来場者数は41万人。経済波及効果は2,330億円と試算している。また、海外からの観戦客の支出は、富裕層が期待できるため訪日外国人の平均を上回ることが予測されるそうである。

そもそもラグビー観戦者は経験者も多く、これら観戦者の胃袋は相当大きなものであろう。飲み食いする量は、一般的な日本人の倍以上かもしれない。

一方**オリンピック**は、2020年7月24日から8月9日の17日間、**パラリンピック**は8月25日から9月6日の13日間開催される。忘れられがちだが、2019年には、プレオリンピックとして競技毎の国際大会も開催される予定である。

日本銀行の試算によると、期間中は1日最大92万人の観戦客が、東京都を中心とした競技会場を訪れると予測し、経済波及効果は東京都が2兆円と試算している。更に、みずほフィナンシャルグループは、7年後までの付随効果は10倍以上の30兆円と試算している。

ともかく、このように近年にない規模で人が集まって来るのである。

食品の生産・流通に携わる者にとっては、チャンスが飛び込んで来るわけである。

もちろん国内はもとより世界各国の同業者が、虎視眈々この瞬間を狙っているわけで、熾烈な競争となることが予想される。

本県主力の秋冬作を減らすことなく、この期間にプラスアルファでの栽培を行って欲しい。

加えてオリ・パラでは、競技者へ供給される農産物は、GAPを取得したものであることとされたため、その準備も必要となる。

千葉県では、それに向けた“**千葉県版のGAP**”の策定を始めたところである。

各産地・生産者におかれては、自主的な取り組みについては是非検討をお願いしたい。

2年後にやって来る胃袋へ千葉県は何を詰め込みますか？

残された時間はそう長くない。

(やっちゃばヨットマンⅢ)

V 首都圏 掲示板

母の日だけではなく、父の日も感謝を込めた花のプレゼントを

母の日と言えば5月2週目の日曜日ですが、父の日はいつか思い浮かぶでしょうか。正解は6月3週目の日曜日で、今年は6月18日になります。大田市場でも父の日のギフト提案として観葉植物や洋ランなどが飾られています。また、日本では父の日のキャンペーンに黄色を用いることが多いため、ヒマワリの需要も高まります。父の日は梅雨の時期に当たり明るい太陽を見ることが少なくなるので、ヒマワリをプレゼントし室内に飾ると明るい気分になり、家庭も明るくなることでしょうか？！



来年の母の日のカーネーション提案



父の日に感謝を込めた贈り物を

千葉県産すいか、今年もはじまります！

GWが過ぎて夏の気配が漂い始めて来ると、千葉県産すいかが場内で目立つようになってきます。5月16日に大田市場において、全農千葉県本部主催で、JA千葉みらい・JA富里市・JA山武郡市による3JA合同の試食宣伝会を実施しました。本年もおいしく仕上がったすいかの試食は瞬く間に完売。市場関係者からは「食感がいいね！」「甘いね！」と高い評価をいただき、これから本番を迎える千葉県産すいかのより一層の有利販売が期待されます。



「千葉のすいか待ってたよ！」と、試食開始と同時に多くの買参人が集まりました。